

江戸末期の儒学者 寺門静軒

万延元年妻沼に滞在した折 地元の人々の要請に応じて

「両宜塾」を開校漢詩文を教えました

両宜塾跡



吟子は両宜塾に入門し 静軒の後を継いだ松本万年の教えを受けました
万年は深谷宿（現深谷市）出身の公許女医2号 生沢クノなどの師であり
女子教育に力を注いだ人物でした
そして万年の長女 荻江もここで教えていました

